

香取市教育委員会会議録

平成 27 年 10 月定例会議

- 1 期 日 平成 27 年 10 月 22 日（木） 開会 午後 3 時 00 分
閉会 午後 4 時 30 分
- 2 場 所 小見川市民センターいぶき館 302 会議室
- 3 出席委員 教育長 山 本 有 香
教育委員 東 陽 一
教育委員 平 塚 智 子
教育委員 野 中 達 治
教育委員 平 山 茂 治
- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 出席職員 教育部長 林 高 志
教育総務課長 畔 蒜 孝
学校教育課長 増 田 進 一
生涯学習課長 伊 奈 亘
生涯学習課副参事 高 谷 早 苗
生涯学習課副参事 北 見 仁 一
香取学校給食センター所長 小 倉 律 子
教育総務班長 門 井 明 子
- 7 教育長 開会宣言
- 8 会議録 委員 平 山 茂 治 委員 野 中 達 治
署名人の指名
- 9 前回会議録 平成 27 年 9 月定例会議録を一部修正後、異議なく承認
の承認
- 10 教育長報告 学校教育では、10 月の三連休をはさみ、2 学期が始まりました。10 月
3 日には香取市総合防災訓練がございました。市役所、消防本部、自衛

隊等の他、地域住民も参加して行われました。ここに、香取中学校が参加いたしました。香取中学校は、平成 27 年度、千葉県教育委員会の指定を受けて「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」を実施しており、「いのちの大切さを考える」というテーマで、防災教育の公開授業に取り組んでおります。このようなことから、訓練当日は、香取中の生徒たちも、通常の避難訓練に加え、担架による負傷者の搬送、避難所開設・運営の補助などの体験を行いました。地元からは、津宮地区 130 名、大倉地区 8 名、その他の地区 33 名の市民が参加してくれました。香取中学校からの参加は、生徒 80 名、教員 15 名でした。全体としては、警察、自衛隊、消防本部、市役所職員など関係機関からの参加者を含めた合計 394 名による大がかりな訓練となりました。先月は、隣県で大きな災害もございました。今回の防災訓練は地震を想定して行ったものですが、災害はいつ起こるかわかりません。学校の子どもの避難訓練も大事ですが、学校の施設自体、一般の人達の避難場所になるものなので、地域合同で実施するというのは非常に大きな意味があると感じました。

学校教育と結びつくものではありませんが、10 月 19、20 日の 2 日間にわたり、「平成 27 年度市町村教育委員会研究協議会」がございました。東日本の教育長、教育委員等が対象で香取市からは私が参加してきましたわけですが、来年からは教育委員の先生方も参加しても良いのかなと思われました。協議会の行政説明では、「初等中等教育をめぐる最近の動向」として、学習指導要領改訂に向けた議論、小中連携やコミュニティスクール等開かれた学校の推進、外国語教育の充実、教科道德の先行実施などの話がありました。そのあとの基調講演では、千葉大学の天笠茂教授が「次期学習指導要領について」と題して、今回の学習指導要領改訂の流れを説明されました。これまで、学習指導要領の改訂作業段階の情報は公開されてこなかったが、今回は、途中の議論も積極的に開示される方針なので、各学校では、現状の議論の過程を踏まえながら新指導要領の実施に向けた準備を早い段階から始めるべきとの趣旨のアドバイスもありました。

教育委員会としては、必要な情報をいち早くキャッチしてこういう動きがあるということを皆さんにお知らせしていくということが重要です。新指導要領の実施は、平成 32 年ですが、学校現場が戸惑わないように支援していきたいと考えております。

千葉県立美術館で平成 27 年 11 月 17 日から平成 28 年 1 月 17 日までの約 2 カ月間、「特別展 香取神宮－神様に捧げた美」が開催されます。香取神宮所蔵の国宝「獣面葡萄鏡」も展示されます。この展示会開催に併せて、美術館と香取神宮、小野川周辺の観光をセットにした「はとバスツアー」も企画されたとのこと。このオプションツアー企画は千葉県教育庁の方々のご尽力のおかげで実現したそうなのですが、いろいろな機会を利用して、香取市の歴史的・地域的・民俗的な資源を教育研究に活用していた

だけのような仕掛けを、私たちもつくっていききたいと思います。
こんなことも出来るという提案を委員の皆様からも、ぜひお願いしたいと思
います。
以上でございます。

11 議決事項 な し

12 報告事項
 協議第 1 号 平成 27 年度学校等訪問について

教 育 長 本日は、小見川中央小学校をご訪問いただきました。
小学校でもご感想を頂きましたが、その他、ご意見・ご質問は、いかがで
しょうか。

委員 質疑 算数の授業に先生が二人ついていましたが、どこの小学校でもそうなの
でしょうか。

教 育 長 基本的には同じですが。ティームティーチング（TT）という授業形態
で、メインの先生が授業をしながら、もう一人の先生がついて個別に指導
をするというものです。これは、しなくてはならないというものではなく
詰めるところはやるということです。

委員 意見 教科指導においては、子どもがつまづきやすい箇所もありますから、30
人に 2 人の先生がついて指導できることはとても良いことだと思います。
5 年生は週二日で、6 年生は毎日と伺いましたが、市内各学校でのティ
ームティーチングの実施状況はいかがですか。

学校教育課長 学年により異なりますが、多くの学校で TT を実施しています。1 つの
教室に二人の先生が入り授業を進めていく指導と、1 つのクラスの子も
たちを発展的な学習を行う集団と基礎的な学習を行う集団に分けて授業を
進めていく指導が行われています。子どもの人数など各学校の実態は異な
るので、すべて同じにはなりません、実態にあわせて授業を進めていま
す。

委員 意見 児童生徒数の多い学校に対して行っているのですか。

学校教育課長 小さい学校でも、工夫しながら行っております。学力向上を主たる目的
に行うことが多いです。

委員 意見 算数数学では、思考が早くできる生徒と、どうしても理解に時間がかか

ってしまう生徒がいます。特別な配慮が必要な子どもには支援員や学習サポーターがつくケースもありますが、（これは財政的にも人事的にも大変であるため）空いてる先生に指導助手として教室に入ってもらい、2名の教員が共同で授業を行うティームティーチングが行われるケースが増えています。

委員 意見 教え方の上手な先生と一緒に授業をやるとノウハウも身に付き、そういう仕組みは、とても良いと思います。

教 育 長 採用して 1～2 年目の若い先生には、初任研修のための指導教員が付きます。彼らは、ティームティーチングで授業をフォローしたり教科指導に関するアドバイスをしたりします。
その他、いかがでしょうか。

委員 意見 学校との地域交流が難しいということですが、学校が休みの時に家庭地域の連携面で学校はどのように関わっていくのでしょうか。

教 育 長 基本的に祝日は教員に勤務命令を出すことができませんので、学校は土曜日等の振替の出来る日に行事を行うことが多いです。地域ボランティアなどをしていただくのは、土曜日が一般的かなと思います。逆に、地域で開催する祝日の行事に教員が出るとすれば、ボランティアしかないのです。ご協力いただける地域の方の心情をどのように酌んでいったら良いのか、知恵を貸していただきたいのです。

委員 意見 難しいですね。

教 育 長 学校もいい考えが見いだせなくているので、なにが出来るのかご意見をいただけると有りがたいです。ここが、考える場だと思いますので。

委員 意見 小学校は、土日祝日に地域に開放されていると思いますが、そこに先生は関係していないということですか。

教 育 長 土日祝日には社会体育が多く行われていますが、ボランティアで、先生方が出ている可能性はあります。

学校教育課長 学校行事というのであれば振替も出来るのですが、ほんの少数の職員だけというのは出来ないのです。

教 育 長 職員も一般の労働者と同じです。

学校教育課長 学校教育課としては、学校支援ボランティアを年2回募集しており、5～6年生で調理だとか、低学年で読み聞かせ等を行っていただいています。

結構、「手伝ってあげるよ」と言ってくださる方はいるのです。中央小などはボランティアを活用出来ていますが、全体として見れば、ボランティアの登録をしていただいているが、なかなか活用できていない学校も多くあります。

教 育 長 栗源は結構、学校へ来ていただいていますよね。

学校教育課長 「櫂の部屋」を使って活動しています。

委員 意見 年配の方々が多いようです。

学校教育課長 子どもたちの方から地域に出ていく行事もあります。山倉小学校は「鮭祭り」の際に交通安全パレードで楽器を演奏しています。

教 育 長 だいたい、ご意見は出ましたか。

委員 意見 素晴らしい環境でした。

委員 意見 羨ましい限りです。

委員 意見 素晴らしいですね。

中央小の調理室には食器洗浄機もあり、恵まれていますので子どもたちに頑張っていたきたいです。

教 育 長 ぜひ、先輩として子どもたちを応援していただきたいと思います。我々も、頑張っていきたいと思います。

また、教育委員の皆様の声というのは非常に重要ですので、これからもよろしくお願いいたします。

協議事項

協議第1号 平成27年度全国学力・学習状況調査の報告について

教 育 長 続いて、報告事項に移ります。

平成27年度全国学力・学習状況調査について、結果が出ておりますので、学校教育課長より説明をお願いいたします。

学校教育課長 平成27年度全国学力・学習状況調査を、4月21日全国一斉に実施いたしました。その結果が出たのが8月末でした。

結果を学校教育課長より報告(香取市ホームページに掲載)

学校教育課長

教育委員会では、10月の校長会で香取市の現状を説明いたしました。また、12月、1月に開催予定の学力向上交流会や教育課程研修会では、香取市の現状と課題、指導改善のポイントを説明して、全小中学校共通で次の三点に取り組んでいく予定です。

1. 記述式の問題、算数数学の見直し振替学習の充実
 2. 家庭学習習慣の定着
 3. 全国学力学習状況調査結果を活かした指導改善(結果を今後どのように活かしていくか)
- 以上です。

教 育 長

ただいまの報告につきまして委員の皆様から、ご質問等ございませんか。

委員 意見

全体はわかったが、学校により差があるようなことはないですか。

学校教育課長

当然のことながら、小学校 22 校、中学校 8 校あるわけで、それぞれ良いところと課題となるところがあります。

委員 意見

かなりの差がありますか。

教 育 長

どの位をもって、「かなり」というのが難しいところです。見る人が見れば「かなり」になりますが、そうでないかもしれない。特に香取市の場合、小学校で申し上げれば、佐原小と中央小以外は学校規模が小さいので、例えば母集団に 1 人優秀な子がいるだけで平均点は大幅に変わってしまいます。よって、このような集団からは有為な統計は得られないのです。ですから、この学力調査結果については学校が授業をより一層改善するためのツールとして使ってくださいとお願いしているのです。学校の指導力の評価、学校の評価に使えるものと誤解されることがあってはなりません。

平均より上か下かに一喜一憂するというのはナンセンス。ある程度こうだというくらいに考えていただきたい。現場の先生方は明らかな差を感じていると思います。しかし、それが教員の指導による差なのか、子どもの個性による差なのか、あるいは他の特別な理由による差なのかは判断が付きません。だからこそ、各学校では自分の学校を分析していただく必要があるのです。

委員 意見

各学校へ、その学校のデータが行くのですね。

学校教育課長 直接、行きます。

教 育 長 私たちは、見られないのです。

学校教育課長 各学校には、全国、県、市、学校と四つのデータが行きますので、四つのデータを見てこれで良いのかというところもあるでしょうし、その逆もあると思います。

香取市では、香取市の平均を踏まえて教務主任クラスの先生を集めて毎年研修を行っています。

教 育 長 何が課題かは、個別に追いかけていただくしかないのです。

委員 意見 人数が多い方が、指導がいきとどかないようなイメージがあり、少ない方が手厚く教えられるような気がするが実際はどうなのでしょう。

教 育 長 必ずしもそうではないのです。ある程度人数がいる中で授業を行えば、周りに切磋琢磨する友達がいることになります。友達同士で教え合う効果も期待できます。一方、習熟度に応じ徹底して小集団化した授業を行ってしまうと周囲には自分と同じ力量の子どもしかいなくなるため、子ども同士の教え合いのような光景は見られなくなり、結果、成績も上位グループと下位グループに二極化してしまわれていいます。一定数以上の児童生徒がいれば集団には多様性が生まれます。このようなことから、子ども同士の多彩な考えにもふれながら学習することをベースにしつつ、難しいところ、躓きやすいところについては、習熟度に応じた少人数指導に切り替える、というような指導が試みられています。

委員 意見 明らかに記述式が苦手というのは・・・

教 育 長 国語力の問題が大きいかと。

委員 意見 国語A、国語Bとあるのですが、Bというのは記述式になるのかなと思うのですが、Aは、ドリルやワークなどやればやるだけ家庭学習でミスをなくせるが、Bというのは授業の中で磨かれていくのかなと思うのです。算数数学は、基本を小学生からやり、図形や記述式が入ってくるのが5年生くらいですか、授業の中で友達の意見を聞きながら、相談したりヒントをもらったりして覚えるが、子どもの数が少ないと友達の意見を聞けないので教えこまれちゃうのです。その割に理科が良いというのは、理科というのは実験をして、そこから何が得られたか、他のグループの結果なども聞き、そうかと理科的な思考が高まるのですが、香取市の理科の数値が高

いのは、先生方が結構考えているなと思います。教え方というのは、どう考えさせるか、プロの技って有るじゃないですか。そういう面で、教育委員会の指導も必要であり、先生の意識を向上していただきたいです。Bの部分の作り方は、教師の力が出ます。

教 育 長

教え方は難しいです。

算数数学で、子どもたちが最初に躓くと良く言われるのは割合の考え方で、これが理解できないと次の約数、倍数でも躓き、中学校へ行ったときにはお手上げになってしまいます。算数数学では論理的な思考力が求められ、国語の文法や論理が理解できないと算数も出来ないことになる。

今の学習指導要領は言語活動の充実に力を入れてきたのですが、まだ足りない。コミュニケーション能力を、人と会話をする、意見を交換するといった活動を通じて伸ばしていき、論理的思考力などもこれと合わせて指導していく。理科であれば実験・観察など、目で見てわかるものもあります。しかし、算数数学は基本的に言葉、論理での理解をさせなくてはならない。会話、話し合いの訓練を通じて、自分の思っていることを伝えられることがきちんとできるようになると、B問題の力もついてくるのです。

委員 意見

小学校の話すこと、聞くことが低いが、これが算数の学習に繋がっていくのでしょうか。

教 育 長

国語というか言語活動能力が全体の基本です。生活力の基本とも言えますね。

委員 意見

香取市は、市独自のテストですか。

学校教育課長

香取市は、小学5年生と中学2年生の学年末に市独自の学力テストを実施しています。

委員 意見

実は、現場ではこれが、重要なのです。一年間、担任が子ども達をどのように指導してきたかの評価にもつながりますので、一生懸命子どもたちを指導していこうと意識しているように感じます。ですから、励ましていただきながら、子どもにどのように関わっていったら、記述式等の意欲を高めてあげて、解けたときの面白みを教えていくような研修をしていったら良いのではないかと思います。

教 育 長

考え方を、どう理解させるかが重要なのですよね。この結果を、しっかりと活用し学力向上に役立てていただきたいですね。

委員 意見

学力調査の傾向というのは、何年も変わっていないのですか。

学校教育課長 過去3年間を見ても、そんなには変わっていません。教育委員会からの働き掛けとしては、去年から具体的な家庭学習のリーフレットとか職員向けに指導の仕方についてのリーフレットを配布したり、見通しをもった授業を丁寧に展開し、最後のまとめでは、授業で何をやったか振り返らせるということをきちっとやってもらったりするようにお願いをしております。

委員 意見 研修を設け、ある程度成績の良い学校の先生の授業を見てテクニックをつけてはどうか。

学校教育課長 県から研究指定をうけていたり、香取教育研究協議会の指定で授業を展開したりとか、国語算数に限らず全教科にわたるのですが、そういった研究会には、各学校の教員が参加しております。

委員 意見 プレゼン作戦が良いかもしれないですね。

教 育 長 プレゼンテーションや話し合いを取り入れた授業は、学校でも結構やっています。今は、総合的な学習の時間も含めて、いろいろなところで取り組んでいます。授業でプレゼン能力を育成するには教師の力量が必要になります。教師に全体の場をハンドリングできる力がないと授業崩壊になりかねません。

教員のリーダーシップが効いている教室では、子どもたちに自由に発言させても締まる場所はきっちり締まります。そうすると、子どもたちの実践を活かしながら授業全体も引っ張ることができます。そういう教員をいかにして育てていくかが重要なのです。

委員 意見 小学校でディベートは、あるのですか。

学校教育課長 やるとすれば、国語・社会・道徳あたりですか。

委員 意見 学校で先生方がどんなに努力しても、家庭学習が最後の砦だと思うのです。インターネット・スマートフォンにこれだけ時間が使われているというのは、先生の問題等もあるとは思いますが、結局家庭教育なのですよね。大きく差を縮めるのは家庭しかないのです。ここで締められれば、学校でももっと良い形ができるわけですから、先生方は一生懸命やっただいていると思いますので、問題は家庭ですよね。昔は、もっと連携がありましたよね。ダメだと言ってきたものが、崩れてきています。その辺の常識が問題で、こうなると子どもの問題ではなく親の問題ですよね。

教 育 長 家庭の秩序をどう取り戻すかという問題ですよね。スマホを使う時間を

1 時間削って一緒に食事をするだけでも、親子の会話は増えますよねということなのです。

委員 意見 コミュニケーション能力がどれだけ必要かということ子どもではなく親が理解してくれているか。

教 育 長 なかなか、この問題について悩みは尽きませんが。

委員 意見 前が見えませんか。

教 育 長 教育委員会といたしましても、大きな課題ですので、これからも皆様と意見交換をかさねていけると有りがたいです。
貴重なご意見を、ありがとうございました。
これで、学校等訪問についての協議を終了させていただきます。
慎重審議、お疲れさまでございました。
その他、事務局から何かありますか。

14 その他 今後の予定について

- 教育総務課長
- ①教育長・教育委員研修会について
日時 11月4日(水) 午前10時15分
場所 千葉県総合教育センター
市役所8時45分出発
 - ②11月定例会の開催について
日時 11月26日(木) 午後1時30分
場所 新島中学校を訪問
午後1時市役所出発
視察訪問終了後
午後3時から市役所504会議室にて定例会議
 - ③教育委員会表彰について
日時 1月27日(水) 午前10時
場所 市役所5階大会議室
 - ④第2回教育長・教育委員研修会について
日時 1月27日(水) 午後1時30分
場所 佐倉市民文化ホール

15 閉 会

上記のとおり相違ないことを証明する。

平成 27 年 12 月 24 日

署名人

署名人